



2020年3月24日

各位

会社名 Delta-Fly Pharma株式会社
 代表者名 代表取締役社長 江島 清
 (コード:4598、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理管掌 松枝 康雄
 (TEL. 03-6231-1278)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 -	百万円 △1,066	百万円 △1,066	百万円 △1,069	円 銭 △244.85
今回修正予想(B)	100	△1,520	△1,527	△1,531	△342.77
増減額(B-A)	100	△454	△461	△462	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	-	△592	△671	△673	△170.16

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想は2019年5月15日現在の発行済株式総数(4,369,600株)を基に、今回修正予想は2020年3月24日現在の発行済株式総数(4,504,600株)を基に算出しております。

修正の理由

当社は所有している各開発パイプラインのライセンス契約提携パートナーの確保を目指して活動しております。本日(2020年3月24日)、「がん微小環境改善剤『DFP-17729』のライセンス契約締結に関するお知らせ」に記載のとおり、日本ケミファ(株)とDFP-17729のライセンス契約の締結を合意したため、事業収益として、その契約一時金が見込まれることから、売上高を上方修正いたします。

一方、事業費用につきましては、各開発パイプラインの臨床試験を積極的に推進しました。治験実施医療機関並びに症例数の増加、新規の臨床試験開始に向けた治験薬となる原薬や製剤の製造などを進めた結果、研究開発費が増加する見込みとなり、2020年3月期の営業利益、経常利益、当期純利益を下方修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上